

白神トピックス

白神ねぎらーめんコンテスト秋の陣を開催 販売課・営農企画課

「白神ねぎ」の知名度向上や消費拡大を目的に、11月23日に能代市の4店舗で白神ねぎらーめんコンテスト秋の陣が開かれました。

能代市の「koikoi食堂」、「麺家麺四郎」、「拉麺哲学総本店」、「ささがわ食堂」が参加し、コンテストに向けて新メニューを作りました。コンテストは当日の午前11時～午後4時まで行われ、16日に行われた組合長や市、町などの担当者が実施した審査と一般客に提供した食数で結果を決め、1位には「ささがわ食堂」が選ばれました。また、今年度中に第3弾のコンテスト「冬の陣」も開く予定となっておりますので、その際は広報やホームページでお知らせします。



▲見た目や味をチェックする審査員



▲青年部員とサツマイモを収穫する園児

大きなサツマイモをみんなで収穫！

青年部

収穫する楽しさ、食べ物を大切にする心を育ててもらおうと、JA青年部浅内支部は11月7日、『おもしろえで農業・イモ掘り大会』を能代市河戸川の圃場で開催しました。この日は、青年部員5人と能代市第一保育所、浅内保育所の園児20人が参加し元気にサツマイモ掘りに挑戦しました。

青年部員に掘り方を教わり収穫体験に挑戦。長靴・軍手姿の園児たちは、自分の顔よりも大きいサツマイモを掘り起こすと「こんなに大きいのがとれたよ!」、「こんなにいっぱいとれた!」など元気な声を響かせ、収穫カゴいっぱいサツマイモを入れ収穫の喜びを味わっていました。

白神産の農産物で献立を考えよう

生活課

JAあきた白神では、管内の小学生を対象に総合的な学習の時間や家庭科の時間などを通して食農教育活動を行っています。11月13日には、生活課の清水係長が藤里小学校の6年生19人に献立作りの出前授業を行いました。

テーマは「給食の藤里スペシャル献立を考えよう」。「栄養のバランス」、「白神産の農産物」、「色どり」などの要素を踏まえて児童らが学習に臨みました。清水係長は、白神産の農産物の説明やおいしい食べ方などを紹介しながら、授業を行いました。今回、児童らが考えた献立は、藤里町内の幼稚園や小学校、中学校で提供される予定になっています。



▲献立づくりの授業の様子



▲白神ねぎを収穫する児童

待ちに待った「白神ねぎ」を収穫

経済課

浅内小学校の5年生の児童16人が11月8日、総合的な学習の時間で「白神ねぎ」の収穫作業を行いました。この日は、経済課の平川課長補佐が講師となり、作業の手順を説明したあと収穫作業が始まりました。

6月に定植した「白神ねぎ」は毎日水やりや雑草取りをし、大きく育てており、児童らは「白神ねぎ」を優しく抜き、皮剥きも行うなどして収穫作業を楽しみました。児童からは「大きな白神ねぎを収穫できてよかった。水やりや草取りを頑張ったかいがありました」と喜びの声が聞かれました。今回収穫したねぎは、学習発表会の際に来校した保護者の方々に販売されました。